

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

健康推進課長 知念 希和

電話番号

0852-22-5248

事務事業の名称	地域保健関係職員研修事業
目的	(1) 対象 保健所、市町村で働く保健師、栄養士、歯科衛生士
	(2) 意図 地域住民のニーズに応じた保健・医療・福祉の総合的なサービスの提供や質の高い地域保健活動ができる人材を育成すること
事業概要	1. 島根県保健師人財育成ガイドライン作成（平成26年6月完成） 2. キャリアアップ研修 ①新任保健師研修（集合研修3日間）、②新任保健師育成支援事業（退職保健師による家庭訪問、健康教育等の実地指導）、③地域ケアシステム構築研修（保健医療科学院の講師による指導、1年間の課題研修）、④プリセプター研修（新任保健師等を指導する中堅保健師の研修）、⑤公衆衛生看護管理者等人材育成研修（看護協会と共同研修、保健師等の管理者を対象とし、統括保健師の役割等について学ぶ研修） 3. 地域保健専門職員研修（保健所単位の研修）4. 現任教育支援事業（現任教育支援検討会、保健師等現任教育関係団体情報交換会、保健所・市町村現任教育支援連絡会）

2. 成果参考指標

(1) 指標名	研修受講職員数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			650.00	650.00	650.00	
式・定義	研修受講職員数（キャリアアップ+派遣研修受講者数+保健所地域保健専門職員研修）	実績値	1,204	1,162	1,209	1,114		%
達成率				178.80	186.00	171.40		
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			%
達成率			0.00	0.00				

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	2,061	2,909
うち一般財源(千円)	1,316	2,239

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・研修参加人数が、平成25年度に比較し、平成26年度減少した理由は、平成25年度は当県で中四国保健師等ブロック研修会が開催され参加者が多かったためである（H26は香川県で3名参加）。・新任保健師研修は年2回、3日間実施、新任期の保健師45名全員が参加した。・保健活動企画研修参加者は、5名で全て市町村であった。・新任保健師等育成支援事業は、6名の新任保健師に対して6名の指導者をそれぞれ配置し、総計43、5日の指導を実施した。・平成26年度新規に実施した地域ケアシステム構築研修は、県3名と市町村8名の11名であり、年間3回の継続実施であったが全員が終了した。中堅期管理期研修は、47名が参加した。・保健所が実施する現任教育支援研修は、管内の実情に応じて実施し、全参加者数は708人であった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・中堅期・管理期の保健師に必要な能力やその体制づくりについて記載した「島根県人材育成ガイドライン」を作成した。

・平成26年度から、中堅期の保健師等が地域のケアシステムを構築できる能力を向上するために、実際の事例を元に半年間の課題研修に取り組み、実践力の向上に繋がった。

・看護協会等の職能団体と共同実施（予算も共同）により、わずかな予算で中央の講師を呼ぶことができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・保健師自身が各期の能力獲得状況の評価ができていない。

②困っている状況が発生している「原因」

・保健師自ら自己能力評価ができる指標の活用が不十分
・研修や保健活動の評価指標が不明確

③原因を解消するための「課題」

・保健師の保健活動や各期の能力獲得に関する調査が必要
・研修や保健活動の評価指標の明確化と保健師の獲得能力指標を活用した評価の実施が必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・保健師の保健活動や各期の能力獲得に関する調査を実施する。
・研修や保健活動の評価指標の明確化と保健師の獲得能力指標を活用した評価の実施方法を含めた、「島根県保健師等活動指針」を作成する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）